

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公表番号】特表2002-521681(P2002-521681A)

【公表日】平成14年7月16日(2002.7.16)

【出願番号】特願2000-562393(P2000-562393)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/566	
C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 内因性の構成的に活性なGタンパク質共役オーファン受容体に対する、インバースアゴニスト、部分アゴニストおよびアゴニストから成る群から選択される化合物として候補化合物を直接同定するための方法であって、

(a) 候補化合物と、哺乳動物細胞中で発現されるG P C R融合タンパク質を接触させる工程であって、該G P C R融合タンパク質は、内因性の構成的に活性な哺乳動物のGタンパク質共役オーファン受容体およびGタンパク質を含む、工程；および

(b) 該接触した受容体における該化合物の効能を測定することによって、該化合物が該受容体のインバースアゴニスト、部分アゴニストまたはアゴニストであるか否かを決定する工程

を包含する、方法。

【請求項2】 前記化合物が、前記オーファン受容体に対するインバースアゴニストであると直接同定される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記化合物が、前記オーファン受容体に対するアゴニストであると直接同定される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】 前記化合物が、前記オーファン受容体に対する部分アゴニストであると直接同定される、請求項1に記載の方法。

【請求項5】 前記オーファン受容体が、G P R 3、G P R 4、G P R 6、G P R 1 2、G P R 2 1、O G R 1、G H S R、R E 2 およびA L O 2 2 1 7 1 から成る群より選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】 前記オーファン受容体がG P R 6である、請求項1に記載の方法。

【請求項 7】 前記 G タンパク質が、G s 、 G i 、 G q および G o から成る群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】 前記 G タンパク質が、G s である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】 前記受容体がヒト受容体である、請求項 1 ~ 8 のいずれか1項に記載の方法。